新庄小学校だより　11月号

学校の教育目標「主体的・対話的にくらしをよりよくしていこうとする子どもの育成」に向かって歩む子供たちの姿を掲載していきます。今月は２年生と５年生です。

最高の歌声を響かせよう「Let‘s go to Happeace」～5年生～



５年生は１１月にオーバード・ホールで行われる富山市小学校連合音楽会に向けて、合唱練習に励んでいます。曲目は「小さな勇気」と「Hey　和」です。「小さな勇気」には、一人一人の力は大きくないけれど「小さな勇気」が集まることで大きな希望や優しさに変わるという、あたたかいメッセージが込められています。「Hey　和」は、「ゆず」作曲、心の中にある優しさや繋がりを大切にして、争いや悲しみを乗り越えようという願いが込められた曲です。９月から本格的に練習に取り組んでいる子供たちですが、繰り返し練習しながら歌詞を覚え、歌声が大きく響き、高音部と低音部の音程をしっかり覚えて歌うことができるようになってきています。朝活動や休み時間には、「もっと正しい音程で歌えるようになりたい」「美しい声で歌えるようになりたい」と進んでさらなる練習に励む姿も見られます。

１０月に入ってからの学年くらしつくりの時間では、「本番で間違えないように歌いたい」「堂々と歌いたい」と目当てを語り、「笑顔の歌詞には笑顔で歌いたい」「歌詞の意味に合わせて、声質を考えて歌いたい」と思いを届けたいという気持ちが高まってきています。自分や周りの人が笑顔で幸せに過ごせるようにみんなで目指している学年目標「Let‘s go to Happeace」に向かって５年生全員の歌声を響かせ、思いを届けることができるよう、ご家庭でも励ましてあげてください。１１月１１日の校内発表会は、保護者の方々にも聴いていただけます。子供たちの歌声を、ぜひご期待ください。（５年担任）

生きものと友だち～2年生～



２年生は１０月から生活科の学習で、「生き物と友達になる」という目当てのもと、生き物と生活を共にしています。探究タイムに図書室に行き、自分が友達になりたい生き物について調べたり、休み時間にはたくさんの子供たちが新庄の森やプール横の畑に行き、生き物を探したりしていました。始めは、「虫が苦手だから触れない」と友達に捕まえてもらっている子供もいましたが、自分が決めた生き物の世話をしていく中で、さわることができるようになり、自分から虫を捕まえるようになりました。「ダンゴムシさわれたよ」と嬉しそうに担任に話す顔は自信に満ち溢れていました。これも、その子供の成長だと考えています。

生き物の世話をしている中で、命についての悩みは必ずあります。Ｓさんは、「カマキリと友達になりたい」と、遊び場所や隠れ場所を作ったり、毎日虫かごを家に持ち帰ってお世話を続けたりしていました。しかし、カマキリの命がなくなってしまいました。その時、Ｓさんはカマキリが亡くなった悲しさをクラス全体に伝え、原因について考えを巡らせました。Ｓさんは「カマキリはストレスを感じやすいから、たくさんの人がさわったらいけないと思う」と発言し、それを聞いた他の子供たちも生き物への接し方を振り返り、身近な材料で隠れ家をつくってストレスを感じにくくするなど、虫の気持ちを考えるようになってきました。

これからも、様々な学習で子供たちが自分の思いを友達に伝えたり、相談したりしながら学びを深めることを大切にしていけるように支援していきます。（２年担任）